

平成 21 年 1 月 13 日

朝日ライフ アセットマネジメント株式会社

朝日 Nvest グローバル バリューストックオープン(愛称:Avest-E)の基準価額下落について

2009年1月13日の朝日Nvest グローバル バリューストックオープンの基準価額は、主要海外株式市場の下落と主要通貨に対する円高の進行を受けて、前営業日(2009年1月9日)比396円安(-6.0%)の6,207円となりました。

昨年末の米国株式市場は、オバマ次期米大統領の経済政策への期待感や米政府による同国自動車産業への支援策を好感して堅調に推移していました。しかしながら1月9日に発表された12月雇用統計で非農業雇用者数の大幅減少が示されたこと、景気低迷長期化を懸念して原油価格が続落したこと、これから本格化する米国企業の決算発表に対する懸念が高まったことなどを受けて、株価は反落に転じました。各国株価指数の推移は表の通りです。

また、当ファンドは実質的に外貨建資産を組入れており、表が示すように主要通貨に対して円高が進行したことも、当ファンドの基準価額が下落した要因となりました。

表 主要各国株価指数

	1月13日	1月9日	騰落率
米国(NYダウ)	8,473.97	8,742.46	-3.1%
スイス(SMI)	5,591.79	5,751.07	-2.8%
英国(FT100)	4,426.19	4,505.37	-1.8%

基準価額への反映を考慮して前営業日の値を表示しています。

表 主要通貨の対円為替レート

	1月13日	11月9日	騰落率
米ドル	89.48円	91.38円	-2.1%
スイスフラン	80.11円	83.29円	-3.8%
ユーロ	119.27円	124.88円	-4.5%
英ポンド	132.22円	138.87円	-4.8%

オバマ次期米大統領は、今月20日の就任に向け主要閣僚人事および経済政策の概要発表等、積極的に動いています。今後はこのオバマ次期政権が具体策として、实体经济の悪化を食い止めるような景気対策を打ち出すことかできるかといった点に注目しています。

当ファンドにおきましては、今後も、国や業種などにはこだわらず個別の銘柄選択の積み上げにより銘柄本位でポートフォリオを構築するという運用スタイルを一貫して維持し、運用を行っていく所存です。

以上

本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント(以下、当社といいます)が、情報提供を目的として作成したものであり、当該商品の勧誘を目的としたものではありません。また、法令に基づく開示資料ではありません。当該ファンドは価格変動リスクや流動性リスク等を伴う証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。)ので、市場環境等によって基準価額は変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。本資料は当社が信頼できると判断した情報を元に、十分な注意を払い作成しておりますが、当社はその正確性や完全性をお約束するものではありません。本資料に記載されている内容は、今後予告なしに変更することがあります。

ファンドの取得の申し込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ず内容についてご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。当該ファンドは、保険契約または金融機関の預金ではありませんので、保険契約者保護機構、預金保険の保護対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合は、投資者保護基金による支払いの対象にはなりません。 T21-0901089

投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元金が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。従ってお客様のご投資された金額を下回ることもあります。

又、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資にあたっては投資信託説明書(交付目論見書)をよくご覧ください。

投資信託に係る手数料等について

[ご投資頂くお客様には以下の費用をご負担いただきます。]

申込時に直接ご負担いただく費用 申込手数料 上限 5.25% (税抜 5.0%)

換金時に直接ご負担いただく費用 信託財産留保額 上限 0.3%

投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

..... 信託報酬 上限 1.89% (税抜 1.8%)

その他の費用 上記以外に保有期間等に応じてご負担頂く費用があります。

詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

(ご注意)

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率等につきましては、朝日ライフ アセットマネジメントが運用するすべての投資信託が徴収するそれぞれの費用のうち、最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

朝日ライフ アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 301 号

(社)投資信託協会会員/(社)日本証券投資顧問業協会会員

本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント(以下、当社といいます)が、情報提供を目的として作成したものであり、当該商品の勧誘を目的としたものではありません。また、法令に基づく開示資料ではありません。当該ファンドは価格変動リスクや流動性リスク等を伴う証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。)ので、市場環境等によって基準価額は変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。本資料は当社が信頼できると判断した情報を元に、十分な注意を払い作成しておりますが、当社はその正確性や完全性をお約束するものではありません。本資料に記載されている内容は、今後予告なしに変更することがあります。

ファンドの取得の申し込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ず内容についてご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。当該ファンドは、保険契約または金融機関の預金ではありませんので、保険契約者保護機構、預金保険の保護対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合は、投資者保護基金による支払いの対象にはなりません。 T21-0901089